

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
初等教科(国語・英語)		小学校教諭	6H	講義・演習・ワークショップ
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年8月21日(火)	80人	ファーガソン ピーター(奈良教育大学・准教授) 中谷 いずみ(二松学舎大学・准教授)		
会場				
奈良教育大学				
【講習の概要】				
○英語: 1. 小学校外国語活動の背景と概観を経て、小学校現場における外国語活動実践例の紹介を行う。2. 参加者による簡単な模擬実践を行い評価する。3. 英語を含めた外国語学習教材による演習を通してことばを学ぶ楽しさを体感し、外国語活動と外国語教育(科目)の意義を考える。 ○国語: 学習指導要領の改訂で、国語科の指導はどのように変わらなければならないか具体的な教材に基づきワークショップ形式で深めていく。また、国語科指導のポイントについて解説する。				
【小テーマ①】 小学校英語活動・英語教育の背景と課題			3. 0H	(担当講師: ファーガソン ピーター)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	学習指導要領から示唆される外国語活動や外国語教育の目的や意義を概観し、実際に取り組む際の心構えや授業担当のチーム・ティーチングの仕方等を検討し、現場の実践例を紹介する。			
到達目標・確認指標	小学校における外国語活動と英語教育の目的や背景を理解し、具体的な指導を構想できる。			
キーワード	国際理解教育、小学校英語活動、英語教育、文字指導、評価			
【小テーマ②】 言語能力を育成するための授業展開			3. 0H	(担当講師: 中谷 いずみ)
講習形態	講義形式・ワークショップ形式			
講習内容	PISAや全国学力・学習状況調査、学習指導要領改訂などを踏まえた言語の能力の育成について、その中核となる国語科の授業においてはどのような点に留意するべきか。具体的な教材に基づきながら講義を行い、ワークショップ形式で国語科の授業について見方を深めていく。			
到達目標・確認指標	言語の能力を育成することの内実を理解でき、具体的な指導を構想できる。			
キーワード	学習者の言語実態、言語の能力、授業の構想、発問			
試験方法	小テーマ①: 講習の最後に20分程度の筆記試験(論述)を行う。 小テーマ②: 講習の最後に20分程度の筆記試験を行う(50点)。観点の詳細は当該時間に示す。			
成績評価の方法・基準等	筆記試験の内容と論述方法をもとに成績評価する(小テーマ①50点+小テーマ②50点=100点満点)。総合点で60点以上を合格とする。			